

# 学校だより

7月号

小倉小学校

平成29年7月3日

## あいさつをするということ

学校長 西本和広

梅雨に入ったものの、晴天が続いていましたが、先週から雨の降る日がふえてきました。雨の日には、水たまりができた運動場をうらめしそうに見ていた子や、リラックスルームや教室で本を読んでいる子など、いつもと違う休憩時間の過ごし方が見られています。

さて、先日、高積中学校で、小・中・高の教員、PTA関係者、地域団体の方が集まり、高積校区に住む、あるいは校区の学校に通う児童生徒の健全育成について、それぞれの立場からの意見交換を行う「高積ブロック子どもを育てる協議会」がありました。

その中で、話題となったことの一つは「挨拶をする」ということでした。

挨拶とは、人間だけが持つ不思議な習慣です。人と出会って、「こんにちは」と言います。その後、「どちらへ？」と尋ねると、「ちょっとそこまで…。」と答えます。「ああ、そうですか。」となって、この会話は終わります。よく考えてみると、この会話には何一つ意味はありません。ただ、言葉を交わした二人の人の心や表情が少しばかり明るくなっただけです。挨拶のあと、顔見知りや仲の良い人であれば、そのあと話が続くこともあります。でも「こんにちは」だけでも別いいのです。

また、「おはようございます」、「こんにちは」という言葉も突き詰めると意味がありません。漢字を使うと「お早う」「今日は」となりますが、深い意味合いのあるわけではありません。

外国語も大して変わりません。英語の「おはよう」は“Good Morning”、フランス語の「こんにちは」は“Bonjour (ボンジュール)”，中国語では“你好 (ニーハオ)”。それぞれ直訳すると、「いい朝」、「いい日」、「あなた、ごきげんいいですね」という感じで、日本語と同じく、深い意味のない簡単な言葉です。他の外国語もだいたいそのようなものです。逆に、簡単な言葉であることに意味があり、だれでも使える社会のツールとなり得ているのです。

人類の歴史の中で挨拶は、仲間であることの合図、合言葉から始まったという説があります。原始時代、襲われるかもしれないという周囲への恐怖心や警戒心から解放役割をしていたということです。挨拶の原点は、互いに安心できる関係性を認め合う、互いに同じ社会の仲間としてのつながりを創りだすものであったのです。

そう考えると、なぜ挨拶をすると気持ちよくなるのかわかります。初めて会った人や、その日に初めて顔を合わせた人に、挨拶する意味もはっきりと見えます。

何気ない挨拶ですが、そこにある意味合いはとても奥深いと思います。そして、当たり前のように挨拶のできる人を育てていくことが、学校や家庭の大きな役割ではないかと改めて考えました。



## 7月行事

- 1日 (土) 子どもセンター (防火訓練)
- 3日 (月) 登校指導  
通学路セーフティネットの日
- 5日 (火) ALT  
スクールカウンセラー
- 7日 (金) 基礎学力教室
- 8日 (土) 土曜教室
- 10日 (月) 地区安全パトロール  
着衣水泳 (5年)  
よみきかせ (昼休憩)
- 12日 (水) 委員会活動  
健康相談 (校医・佐藤先生)
- 13日 (木) 食育・姿勢の学習 (4年)  
携帯モラル学習 (5・6年)
- 16日 (日) 開校記念日 (117周年)
- 17日 (月) 海の日 (祝日)
- 18日 (火) 老人見守り隊活動日
- 19日 (水) クラブ活動、地区安全パトロール
- 20日 (木) 終業式
- 22日 (土) 小倉夏祭り
- 24日 (月)、25日 (火) 個人懇談会

## 水泳学習が始まりました



## 開校記念日

7月16日は、小倉小学校の開校記念日となっています。117年前(明治33年)に小倉上尋常小学校と小倉下尋常小学校が合併し、現在の場所に小倉尋常高等小学校が開校しました。(ちなみにこの年は西暦1900年です。)当時の生徒数は365人、学級数7、教員数7という記録が残っています。(生徒数は現在とほぼ同じです)



昭和11年に完成した校舎

## 用水路に注意!

この季節、用水路や宮井川の水量が多くなっています。転落すると生命にかかわる事故につながります。覗き込んだり、水の近くで遊んだりすることのないよう、ご家庭でもご指導をお願いいたします。また、田や畑は農家の方の大切な財産です。特に、田の堰を触ることのないように併せてご指導ください。

## 季節の詩

ペンキ ぬりたて きをつけろ  
パンパン はたけの たいこだぞ  
耳に あてれば 小さな たねが  
ひそひそばなしの さいちゅうだ (ピーマン くどうなおこ)

